



みょう じょう
明 星

～さんと輝く明星の
高き希望とめざしつ～
(大宮小校歌 3番より)

名護市立大宮幼稚園・大宮小学校
学校便り 第2号
令和4年6月14日発行
発行者 校長 比嘉 悟

平和学習 ～戦争体験者の方のお話し～

「5才で迎えた伊江島での戦争」 山城利正さん（宮里区在住）

6月14日（火）、3年生、4年生、5年生を対象に平和学習会が行われました。語り部に宮里区の山城利正さん（伊江村出身）をお招きして、オンラインでお話しを聞きました。山城さんが体験した伊江島での戦争の様子について、戦争が終わった後の収容所の生活について、伊江島に戻った後の大爆発事故について、短い時間の中で語っていただきました。正直、今の子どもたちがどれだけ戦争のむごさや理不尽さを理解できるか不安ですが、山城さんのようにお達者で、子どもたちのために語り部を続けていただく方との交流がいかに大切か、あらためて考えさせられました。ありがとうございました。



「せんそうは、『一生したくない!』とおもいました。理由は、みんなに命を大切にしてほしいし、人々をぎせいにしないでほしいと思ったからです。せんそうを体験した人たちが苦しかったことを伝えてくれることで、ぼくたちはせんそうのこわさを知ることができます。

せんそうでなくなった人たちは悲しい思いをきったでしょう。そのような思いを大切に、世界のみんなにもせんそうはぜったいにほしくないと思いたいです。」
4年3組 上間光希

「山しろさんがせんそうでなくならなかったのは、山しろさんがこうどうをしたからたすかったのかなと思いました。かぞくがなくなったところがかなしかった。くらやみの中におとされたのがこわかった。」
3年3組 仲本 聖

「100人以上がいっしょで死んだのがこわかった。なんでせんそうがおきるんだらう。一人一人がなかよくする。ぼくにできることは、友だちや人を大切にする。」
3年3組 高良 光

「私は今日、平和学習の戦争の話しを聞いて、戦争は絶対にやっかいけないと、もっと思いました。戦争では、あたりが真っ黒で何も見えない、と聞き、私は戦争がもしもはじまったら、すぐににげれず亡くなってしまうと思います。戦争中、死体が地面に落ちていたりすると聞き、とてもこわいです。なので、平和に家族とくらしたり、平和に友だちと遊びたいです。戦争はとてもよくないことです。なので、絶対に戦争はしたくありません。」

5年2組 新田莉緒

山城さんが子どもたちに伝えたかったこと

「武力は戦争を引き起こし、不幸を招く。対話は、平和を生み、人々を幸せにする。」

～ ウクライナの惨状を目の当たりにし、私たち大人は平和について子どもたちと語る責任があるように感じます。いかがでしょうか。～